

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) オカネツ工業株式会社	住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 704-8161 岡山市東区九幡 1 1 1 9 - 1
----	---------------------------	----	--

本票作成	部署名： 経営管理部人事勤労課
------	-----------------

主たる業種	分類コード	24	業種名： 金属製品製造業
-------	-------	----	--------------

事業の概要	小型農業機械及び動力伝達装置製造
-------	------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	本社/本社工場	岡山市東区九幡 1 1 1 9 - 1

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 元 年度)	(令和 3)年度排出量	目標年度 (令和 6 年度)
	4,661 t CO ₂	4,980 t CO ₂	4,428 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 3)年度排出量
	①	本社/本社工場	4,980 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 2 年度	～	令和 6 年度	(5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(3)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	8.2 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 加工高	原単位当たり排出量		
		基準年度	(3)年度	目標年度
		346.3 t CO ₂ /(億円)	318.0 t CO ₂ /(億円)	329.0 t CO ₂ /(億円)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 3 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

コロナ禍による受注減からは完全に脱し、年間を通じて受注は順調であったが、コロナ禍や上海ロックダウン等に伴ってサプライヤーからの部品供給が滞ることが多く、未だに生産が安定的に行えているとは言い難い。受注増でエネルギー使用量は大幅に（2割近く）増加したが、同様に自社加工高も増加しているため、消費原単位としては良好な数値を記録している。今後もコロナが収束しなければ、製造設備面の投資継続は難しく、加工高についても低単価且つ不効率な品目が増加傾向にあるので目標値の維持は容易では無いと考える。

【推進体制】

省エネ委員会（事務所、工場/倉庫の2部会構成で、全部門から最低1名以上を選出）を安全衛生委員会と併せて月次定期開催。コロナ禍が続いたことで開催困難な場合が増加しているが、前年から引き続き書面配信で継続開催し活動の不足を補った。新たに6S活動の浸透を目指して部門相互のパトロール他全体を見直し、各部会、部門等からの報告・要請に基づいて活動を継続的に行っている。改善の実施は他の改善活動と並行して生産技術部が担い、大きな額（10万円以上）の場合は事務局が発議して実施の是非を会社と協議。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
本社/本社工場	<p>（令和3年度実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①デマンドモニターによるピーク管理（工場空調の自働連動＋手動OFF） ②生産（熱処理炉稼働状況他）情報共有によるピーク調整 ③コンプレッサー機器の更新と圧縮空気配管からの漏れ防止徹底 ④不要照明の消灯徹底 ⑤構内（工場内順次）LED化推進 ⑥空調使用基準（不快指数で判断）の遵守徹底 ⑦旧型エアコン順次更新（本工場スポットクーラー全更新） ⑧工場の旧型設備更新 <p>（今後実施予定分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度以降に省エネ対策並びに電力料削減としても有効な大型空調機器の更新や、太陽光発電設備の増設を計画しており、職場改善と連動する形で順次進めていきたい。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	2016年2月に工場屋根に太陽光発電設備（294kw）を設置済
その他	無	

【その他特記事項】

--